

# 新年のごあいさつ



足羽福祉会 理事長 高村 昌裕

## ～地域に信頼される福祉を目指して～

明けましておめでとうございます。

平成28年は、これからの足羽福祉会の方向性を定める上での足場固めとして、3つの挑戦をする年になると捉えています。

1つ目は、今春に成立が予想される社会福祉法改正への対応です。社会福祉法人に求められる組織上の課題が4つあり、それらに次のように対応します。

- ①経営組織の見直し→評議員・理事の役割の明確化、会計監査人の導入等により、法人組織の機能強化を行います。
- ②事業運営の透明性の向上→財務諸表等の情報公開に関する規程を整備し、積極的に情報開示を行います。
- ③財務規律の強化→適正かつ公正な支出管理を行い、内部留保額を明確化します。
- ④地域における公益的な取り組みを実施する責務→現在行っている公益的取り組みの位置づけをより具体的に公表します。

以上の取り組みにより「足羽福祉会はしっかりした組織だから安心だ」と皆様からの信頼をよりいっそう得られるよう、公益性、公平性、透明性を打ち出します。

2つ目は、地域包括支援センターの開設です。福井市

の第6期介護保険計画に基づき、啓蒙・東藤島・岡保地区について受託したもので、愛全園がこれまで密接にかかわってきた地域でもあります。地域包括ケアの中心となる機関として、地域の皆様や関係機関と一緒に連携しながら、安心して住み続けられる地域創りに取り組みます。

そして3つ目が、法人創立50周年に向けた対応です。当法人が昭和42年に「財団法人足羽学園」として設立して以来、障害、保育、介護を中心に地域に根ざした総合的な福祉実践を行ってきました。平成29年度に迎える節目を機に、これまでの足跡を振り返りながら、利用者の方やご家族、地域社会、そして職員がこれからの私たちのあるべき姿を語り合い、共有できるような機会にしたい、実行委員会を立ち上げます。

福祉をめぐる課題はますます多様化・複雑化していますが、今号でも取り上げているように、利用者の方、ご家族や地域の方々、そして職員一人ひとりが「いきいきと」「輝いている」姿を大切に、豊かな毎日の暮らし、活気ある職場の実現に向けて、本年も役職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。何とぞ皆様のご支援、ご協力のほどお願いいたします。



愛全園  
(昭和54年)

昭和54年、地域社会の高齢化に伴い特別養護老人ホーム 愛全園を開設(定員90名)



足羽東保育園  
(昭和49年)

昭和49年、足羽福祉会初の保育所として足羽東保育園が完成(定員90名)



足羽学園  
(昭和42年)

昭和42年、知的障害児施設北陸陽気園が開園(定員30名)。同年財団法人足羽学園に名称変更。足羽福祉会の歴史が始まる。

平成29年、足羽福祉会は創立50周年を迎えます。  
今号からシリーズで足羽福祉会の50年を少しずつ振り返っていきます。  
今回は、足羽福祉会が誕生した昭和42年当時の姿を追います。

共に生きて  
50年

次号(123号)に続く…